

和太に留学してよかつたこと

メイテュミョーアウン

日本語・日本文化研修留学生 ミャンマー

和歌山に来て何と3ヶ月が経ちました。時間が経つのは早くて、3ヶ月があつと言う間に終わった気がします。そうは言っても、振り返ってみると、色々な出会いやたくさんの体験が思い浮かびます。

和歌山に来たのは春休みだったので、最初は留学というよりも、和歌山への旅行みたいな感じでした。優しい地元の人たちは和歌山の色々なところへ連れていってくださって、和歌山ってどういう所かを初めて実際に感じ取った時とも言えます。和歌山は小さい町で交通も大都市ほど便利ではないと言われますが、山も海もあつて自然に恵まれている和歌山の美しさを誰もが認めないではられないだろうと思いました。

観光客みたいに過ごした春休みが一瞬で終わってしまい、本格的な和太での留學生活が始まりました。多國からの留學生たちと友達になつて、お互い助け合いながら、和歌山の生活にもだんだん慣れてきました。忙しい分、新しい勉強や色々な日本の文化体験ができて、充実している日々が続きました。その中で、一番の思い出は和歌祭りに参加したことです。



祭りといえば、私の國ミャンマーは仏教徒が比較的によく、宗教に関する行事や色々な伝統的な祭りが一年中行われている國です。子供の頃は祭りの日が近づいてくると、その日が楽しみでわくわくしていたことを覚えています。その時は歴史や伝統文化などのことをあまり理解していませんでしたが、ただ、みんなと一緒に楽しみたかつたみたいです。ところが、10代になると、地域の祭りや伝統行事などへの関心がだんだん低下してきました。昔の歌や踊りなどで行われている祭りは現代のものと比べたら、つまらなく感じてきたのです。だから、ほとんど参加しないようになって、自國の、または、地元の伝統文化や祭りには全く関心を持たなくなりました。

ですが、和歌祭りに参加して、伝統文化の大切さを心の中で感じられるようになりまし

た。「和歌祭り」とは昔から毎年行われている和歌山の伝統的な祭りです。その祭りに毎年、和大学の留学生たちも参加しているのです。今年の和歌祭りは400年目でした。私たち留学生は『唐人』の衣装を着用して参加することになりました。唐人の衣装とは昔和歌山に来た外国人たちが和歌祭りで着た衣装を復元して作られたものです。その点から、昔も外国人たちが和歌祭りに参加していたことが分かります。

私たち留学生は祭りの日の一週間ぐらい前、和歌祭りの歴史や元々の記録などが展示されている紀州経済史文化史研究所へ見学に行きました。100年以上前から書かれた記録の本、祭りで使用された旗、新聞雑誌まで集められているのを見て、とても驚きました。また、昔和歌祭りで使われた歌や踊りなども昔のまま現代でも使用されているみたいです。自国での祭りなどにあまり関心がなかった私はそれに対して、素晴らしいなと思った一方で、ただ一年に一回行われる祭りのことをそこまで大事に研究する必要があるのかという疑問も湧いてきました。でも、それは非常に大事であるということが祭りの当日に分りました。

当日は祭りに参加するため、集合場所に着くと、多種の昔の衣装を着ている人々、踊りや歌を歌っている人たちがいて、まるで古代に戻った感じがしました。同時に昔の和歌山の人たちはみんなそのように祭りを楽しんできたのだらうと思いました。私は外国人で、和歌祭りの登場人物、踊り、歌などのことはあまりわからなかったですが、その場にいるみんなとは同じ仲間のように感じられました。それぞれ違う年齢、職業、地位の人たちもこの祭りでは一緒に楽しむ同じ仲間として統一感を感じているのだらうと思います。普段なら自分の生活のことで周りのことを気にしなくなり自己中心になりがちな現代人たちに統一感を感じさせ、自分が生きている社会の歴史のことを振り替えさせるのは伝統的な祭りだからこそだと納得できました。

和大学に留学して、和歌祭りに参加したように、日本文化を体験するチャンスが多くありました。日本文化以外にも『多言語サロン』という多国から来た留学生たちが自国の文化や母語を紹介する学習イベントが実地されています。それによって各国の異なる歴史背景をもとに、異文化や価値観に理解を深め、また、前はあまり関心がなかった自国の歴史や伝統文化のことも大事に考えるようになりました。私がそのように自分と社会との関連性、また、伝統文化や習慣などに関する心の受け取り方が変わってきたのは、和大学に留学して色々な体験をしたからです。



Good Experiences as An Exchange Student At Wakayama University

May Thu Myo Aung

Japanese Studies Student / Myanmar

The three months of after I arrived in Wakayama were filled with many experiences. When I arrived, it was spring break, so I was able to explore some places of Wakayama. After university started, I had the chance to experience a great deal of Japanese culture with my international friends. My most memorable experience was attending the Waka Matsuri (a traditional festival) in Wakayama. I realized that traditional festivals and cultures have a profound impact on our society from this experience. I also learned about different perspectives and thoughts by sharing the cultures of different countries with my international friends. It has become more important to me to learn about the culture and history of my country.

ဝါကယမတက္ကသိုလ်မှအတွေ့အကြုံကောင်းတစ်ခု

မေသူမျိုးအောင်

ဂျပန်ဘာသာဂျပန်ယဉ်ကျေးမှုအထူးပြုကျောင်းသူ / မြန်မာ

wakayamaကိုရောက်ပြီး ၃လအချိန်အတွင်းမှာတွေ့အကြုံ အဖြစ်အပျက်အမျိုးမျိုးကြုံတွေ့ခဲ့ရပါတယ်။ wakayamaကိုရောက်တဲ့အချိန်ကနွေဦးကျောင်းပိတ်ရက်ဖြစ်တာကြောင့်wakayamaရဲ့နေရာတွေအနှံ့ကိုလည်ပတ်ခဲ့ပါတယ်။ပိတ်ရက်ကုန်ဆုံးပြီးကျောင်းဖွင့်တဲ့အခါမှာ နိုင်ငံပေါင်းစုံကကျောင်းသားတွေတဲ့အတူဂျပန်နိုင်ငံရဲ့ယဉ်ကျေးမှုများနဲ့ပတ်သက်ပြီး အတွေ့အကြုံများစွာရရှိခဲ့ပါတယ်။ ထိုအထဲမှ wakayamaမြို့ရဲ့ပွဲတော်တစ်ခုဖြစ်တဲ့ Wakaပွဲတော်မှာ ဆင်နွဲ့ခဲ့တာဟာ အမှတ်တရအဖြစ်ဆုံးအတွေ့အကြုံဖြစ်ပါတယ်။ ထိုအတွေ့အကြုံမှတစ်ဆင့် ရိုးရာဓလေ့ပွဲတော်၊ယဉ်ကျေးမှုတွေဟာ လူမှုအဖွဲ့အစည်းမှာ အလွန်အရေးပါတယ်ဆိုတာကို သတိပြုမိလာခဲ့ပါတယ်။အဲဒီအပြင် နိုင်ငံတကာကျောင်းသားများနှင့်အတူ မိမိနိုင်ငံရဲ့ယဉ်ကျေးမှုနှင့်ပတ်သက်ပြီး အပြန်အလှန်မျှဝေကြရင်း မတူညီတဲ့အမြင်၊တွေ့ဆေါ် ပုံများကိုသိရှိနားလည်လာခဲ့ပါတယ်။ မိမိနိုင်ငံရဲ့သမိုင်းနှင့်ယဉ်ကျေးမှုကိုပိုပြီး လေးလေးနက်နက်သဘောထားမိလာပါတယ်။ဒါဟာ wakayamaတက္ကသိုလ်မှာတက်ရောက်ပြီးတဲ့နောက်မှ နားလည်လာတဲ့အရာများဖြစ်ပါတယ်။